

板野中学校 同和教育だより

M Y S K Y 第17号

ア イ ヌ カ イ

2002年2月4日(隔週火曜日きまぐれ)発行

$$p(> <)q$$

發行者

編集・文責
同担吉成正士



東京高裁

2 狭山事件

「棄却決定誤らない」

石川さんの異議認めず

石川一雄さん
を退ける決定をした。石川さん側は特別抗告する意向。
決定は二十三日付。高

違反しているとする弁護
団側の主張を退けた。

さらに弁護団が第二次
再審請求で提出した脅迫
状の筆跡鑑定や死因に関

却て刑が確定した。
第一次再審請求が退けられ、弁護団は八六年「女子生徒宅に届いた現金要求の脅迫状の筆跡が石川

きない」とい
犯人扱いする
の人生をぶち
して、日本と
。心の底から

四年に一審浦和地裁で死刑判決を受けた。全面否認に転じた東京高裁の控訴審では「犯行は偶発的」と無期懲役に減刑さ

ことなのです。
か？ どうしてあ
せば気が済むの
う国に、日本と
しいです。

にほん ほう
日本に法はあるのか-?!

先月の24日、左の記事が全国
を駆け巡りました。

マイスカイの第2号で、「狭山^{さやま}事件」について紹介しました。みなさんは覚えて^{おぼ}えているでしょうか？
 被差別部落^{へんべん}に対する偏見^{へんけん}が作りあげた「えん罪^{えんざい}」だと言われている。現在、石川さんは仮釈放^{かりしゃくほう}されていますが、依然^{いぜん}無期懲役^{むきちょうえき}として犯人^{はんじん}、つまり殺人者^{あつか}扱い^{あつか}されています。

3年生はもう公民^{こうみん}で学習したかもしれないが、日本も含め、世界的な「法^{ほう}による裁^{さば}き」の基本的な考え方として、

「疑^{うたが}わしきは罰^{ばつ}せず」
 というのがあります。つまり、
 「『もしかすると犯人じゃないかも
 しれない』^{うたが}という疑^{うたが}いが少しでも

あれば、罰することはできない」ということなのです。

それなのに、どうして犯人扱いするのか？どうしてあらためて裁判のやり直しをしようとし
ないのか？いつまで人の人生をぶち壊せば気が済むのか？国は部落差別をなくす気がある
のか？日本国民の一人として、日本という国に、日本という国の司法制度(裁判制度)に、不
信を抱かざるを得ません。心の底から悔しいです。

石川さんは今後も闘い続けていくそうですが、私も共に闘い続けたいと思います。自分がおかしいと思ったことには「おかしい！」と、言い続けていきたいと思っています。

詳しくはインターネットで「狭山事件」を検索してみてください。石川夫妻の談話や今回

の「異議申し立て棄却」などについて、詳しいことが載っています。



◆ もりぐちけんじ 森口健司先生を招いての2年生全体学習について(1月19日)

この2週間、1年生も2年生も全体学習を通して部落問題学習を深めていますが、1月19日の全体学習で、ひさびさ久々に胸の熱くなる全体学習を思い出してしまいました。

森口先生が特別司会として行ったのですが、この発端は、ある2年生女子の発言でした。その発言内容は、部落差別をはじめとして、さまざまな差別問題に取り組んでいる板野町高校生友の会「しんゆうかい真友会」に参加して思っていることについてでした。それを受けて、かつて板中でいた生徒の、家族、部落差別、そして真友会に寄せる思いを綴った文章を、森口先生が読んだのでした。

みんなの「父親がうっとうしい」という言葉を聞くと、とても腹が立ってくるけど、なぜか羨ましくもなる。それは父親がうっとうしいのは、父親が生きている証拠だからだ。

僕の父さんは生きてはいない。アルコール中毒で死んだ。僕が小学校一年生の入学式の日に死んだ。その時僕はなぜか泣かなかった。いや泣けなかった。涙が出なかった。まだ小学生になったばかりの入学式の日のことだから、父さんが死んでしまったという意味を理解していなかったと思う。けれど父さんのことを書いたり、話をしていると涙が出てくる。

今日の公民の時間「父親がおらん」という話をして、先生が僕の兄さんの話をしてくれたとき、僕は必死に涙をこらえていた。僕たち兄弟の部落差別に対する思いは、部落差別が憎くてしかたがないという気持ちだ。なぜなら、父さんが死んだもう一つの理由に部落差別があるからだ。

父さんは仕事先で、部落のことについて差別的なことを言われて悔しい思いをした。とても静かで、優しくとてもよい父さんだったが、部落差別を受ける中で、酒を飲むようになり、その酒で生命を縮めていった。その優しかった父さんが死んだと聞いて、なぜかとても複雑だった。小学校一年の時で、他のことはそんなに覚えていない。でも、父さんが亡くなったとき、とても悲しかったことははっきりと覚えている。

兄弟3人の中で一番僕が父さんへの思い出が少ない。僕はとてもこの悲しみから一生逃れることはできないと思うし、誇りにもできないけど、父さんのことを心に刻んで一生忘れることのないように生きていきたい。

僕には父さんがいないけど、その分、母さんがいる。二人の兄さんがいる。その母さんと兄さんが、父さんの代わりをしてくれている。とても感謝したい。けれど父さんがいないのは、とても悲しいことに違いない。

父さんが死んで一番悲しいのは、ばあちゃんでもなく、じいちゃんでもなく、二人の兄さんでもなく、僕でもない。父さんが亡くなって一番悲しいのは母さんだと思う。そう思うのは、父さんの葬式の時、母さんが父さんの棺にしがみついて泣いて離れなかったからだ。それだけ母さんは悲しかったのだと思う。

母さんの悲しみと父さんの無念を、何とか次の人、次の人へとつないでいって、部落差別をなくしていきたいと僕は思っている。だから僕は学習会に一番多く出席している。その勢いで高校へ進学し、高校進学後も真友会(高校生友の会)にも参加して、部落解放の道を歩いていきたい。

一日も早く差別がなくなる日が来るのを、僕は信じて行動していきたい。

この後、涙をこらえて、「……**すごく腹が立ちました……**」と、^{しば}絞り出すような発言。また、真友会に参加している子からは「**その子を見る見方が変わりました……**」という発言。そして、「**私のおばあちゃんは、小さい頃靴を隠されたり、大人になったら就職させてくれなかったり**といった部落差別を受けてきたそうです。今はもう定年していますが、^{くつかく}**年金からくれるお年玉は**大切にしたいと思います。ずっと前、お父さんとお母さんがちょっとしたケンカをしていたときに、お父さんが『お前部落出身やのに何言よんな』って言ったんです。それでお母さんが『何で部落出身だけでほんなこと言われなあかんの』って泣きながら言っていました……」という涙の発言につながっていきました。

お母さんが悪いんじゃない。お父さんが悪いのでもない。部落差別が悪いのだと思うんです。そのしょうもない部落差別をなくしていこうとする人間が増えることで、部落差別に苦しむ人は少なくなっていくのだと思うんです。つまり、部落差別によって苦しむ家族が減るんだと思うのです。

「**部落出身者だけの問題でない。部落出身でない人の問題でもある。学習会がなくなろうとしているので、みんなに協力してほしい。**」

「**部落には、^{でんとうぎ}伝統的で大切な仕事があるんだけど、それを嫌う人もいます。おばあちゃんがそれをしているんだけど、嫌わないようにしてほしいです。**」

部落問題に対する認識を深めるような訴えや、学習会存続を訴える発言がありました。

「**弱いからちゃんと言えないけど、学習会の一泊研修は遊びじゃなくって、部落問題について話し合いをしたり、他の学校の子と部落問題について討議したりしているのを分かってほしい。**」

「**学習会存続について『ほんなん無くなったらいいのにな』と言われたけど、『私はなくなってもほしくない』って言えなかった。言えば良かった……**」

これらの発言を受けて、「これから自分を変えていきたい」「部落差別はあっていいわけがない。学習会は必要」「自分が^は恥ずかしくなりました。ごめんなさい」「学習会で何しているか分からない。学校でもこういう場(部落問題学習や全体学習)をもっと作ってほしい」というふうにつながっていきました。



■5日に公立高校推薦入試が行われます。それぞれ

の長所が認められて受検することができるわけですが、是非入試も頑張り、その個性を余すことなく発揮してきてください！後に続く仲間の励みになるよう、頑張ってきてね！また公立高校一般入試を受検するみなさんにすれば、これからの2週間は、進路決定の最後の大詰めになります。自分の希望や適性、今までのテストの成績や周囲の意見などを参考にして決定することになるとと思いますが、絶対に悔いの残らない進路選択にしましょうね！そして、希望の進路を勝ち取れるよう、最高の努力を払い、みんなでその夢をゲットしましょう！

■14日に、板中と東小合同による学習会保護者会が開かれます。中学校入学を目前に控えた小6や、今中1・中2のお子さまをもつ保護者の悩みに応えるべく開かれます。そのテーマは「どうすれば勉強が身につくのか？」です。お悩みの方々は、是非お誘い合わせのうえご参加ください！待ってま〜す！！

〇〇〇 INFORMATION 〇〇〇

- 2月5日(火) 徳島県公立高校推薦入試
- 14日(木) 板中・東小合同学習会保護者会「ワポイント勉強」(19:30~21:00; 東公会堂)
- 17日(日) 3年生登校日(17日~19日; 学年末テスト)
- 20日(水) 徳島県公立高校一般入試願書締め切り日、1・2年生基礎学力テスト
- 22日(金) 3年生を送る会(午後; さくらホール)
- 23日(土) 成徳高校一次入試
- 24日(日) 阿南高等専門学校一般入試
- 3月1日(金) 3年生実力テスト
- 4日(月)~6日(水) 1・2年生学年末テスト